

響け平和の鐘



8月6日、西京革新懇恒例の「平和の鐘」が檜原の大妙寺で行われ、21名が参加しました。

主催者あいさつで幸代表は、国連の会議で核兵器禁止条約が122か国で採択されたことにふ

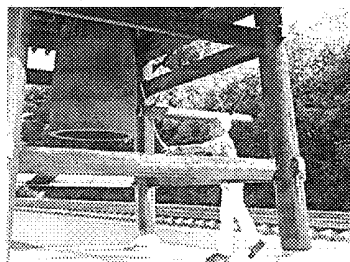
れ、カナダ在住で被爆者のサーロ節子の次の言葉を紹介しました。

「私はこの日を70年間待ち続けていました。その日がついに来たことに対し、喜びでいっぱいです。これは、核兵器の終わりの始まりです」。

参加者は、核廃絶にむけた決意を新たに

して、8時15分、平和の鐘を高らかに響かせました。なお、この行動に成宮府会議員、河合市会議員から文書でメッセージが寄せられました。

(写真上は、挨拶する幸代表、下は平和の鐘を打つ参加者)



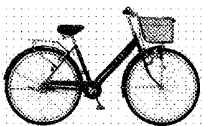
お役立ち情報 その5

年金者組合の自転車共済がおすすめ

最近、自転車による加害事故が増えている。

京都市は、2018年4月から自転車保険加入を義務付けする。これに先立ち、さまざまな保険商品が売り出されているが、年金者組合京都共済会の「自転車共済」が他よりも安くて、しかも補償内容がしっかりしているので紹介したい。

「自転車共済」は、①個人賠償責任共済（組合員と家族）、②自転車災害共済（任意で1名づつ加入）の二つから成り立っている。

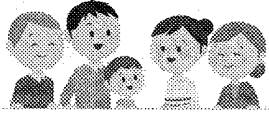


個人賠償責任共済は、自転車運転を含む日常生活で、加入者本人またはその同居の家族が、相手にケガをさせたり、損害を与えた場合、1億円を限度に補償。賠償の対象は、自転車事故に限らない。例

えば、子供が誤って隣家の窓ガラスを割ったなどの事故も対象になる。しかも、掛け金は、年間1400円という安さが魅力。

自転車災害共済は、自転車事故で加入者が死亡、入院、通院または後遺症が残った場合に、死亡150万円、入院1日3000円、通院1日1000円、後遺障害6～150万円（但し、支給上限あり）を補償。

掛け金は、年額600円（月額50円）×加入人数。



☆☆☆☆☆

個人賠償責任共済と自転車災害共済に家族4人

で加入すると、1400円+2400円=3600円となる。

安心・安全の備えあって憂いなし。是非、ご検討を！なお、共済に加入するためには、年金者組合への加入が必要です。

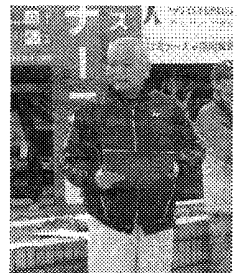
詳しくは、年金者組合西京支部(391-0781)まで。

私も一言！

軍拡ではなく

福祉・医療を手厚く

林 清（大原野）さん



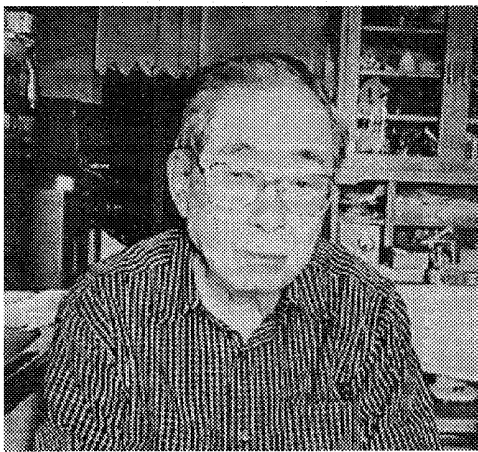
最近、どのチャンネルを見ても北朝鮮のロケット発射のニュースが繰り返えし報道されている。

確かに不安であるが、余りにも口説く、国民の不安を煽り立てている。日本政府こそ、米・朝両国に対話による解決を求め、それが実る行動をとるべきだと思う。政府は、米国製の迎撃システム地上配備型のイージス・アショア、無人偵察機グローバルホークの導入等を予定し、軍事費は5兆円を超える。

これからの日本には、高齢化に向かうための福祉・医療等に厚い手を差し伸べることが重要であると思う。

お詫びと訂正 前号の「私の一言」欄でお名前に誤記がありました。お詫びします。お名前を「森脇健二」さんに訂正（誤一森脇賢二）します。

憲法が生きる力を与えてくれた



今回は、洛西・境谷在住の加藤敦美さんをお訪ねしました。元予科練の加藤さんは、朝日新聞に投稿した「学生デモ

特攻の無念重ね涙」(15/7/23)が大きな反響を呼び、シールズの奥田愛基さんとの対談が実現。その後も投稿や執筆活動を続けています。(17/8/15 付朝日にも投稿「9条 生きよと命じてくれた」が掲載されています)

以下、加藤さんのお話を紹介します。

「神の民」として予科練に入隊

私は、昭和3年に中国大連に生まれた。父は満鉄に勤務。満鉄が小学校を経営していた。先生は満鉄社員だった。そこで教育勅語を叩き込まれ、「神の民」と教えられた。16歳の12月に予科練に合格。その日のうちに入隊しろと言われた。軍国美談をつくりたかったのだろう。誰かとめてくれないかと思った。しかし、親も止められない。見送る家族を振り向かず暗い道を駅に向かった。その時の情景は今もはっきりと記憶している。

予科練では、鉄拳制裁が待っていた。殺気立っており、服従以外に個人の感情が持てない。俺たちは虫けらなんだと思われた。特攻隊員の訓練は、急降下のみ。恋の経験もない、若いきれいなままで死んでいった。消耗品のように。国って何ですか。国

が何かしてくれましたか。何のために死ぬのですか。死ぬために死ぬ。それはもう戦争ではないですよ。

憲法が生きよと教えてくれた

(8月15日)神が降参した。神が消滅した。あの時日本人は、真空化していた。どんな顔をしていたか。モナリザのような顔、裸になった日本人の顔をしていた。そして、日本が死に絶える寸前に憲法が生まれた。死の国から生の国に転換した。

生きるための教育を受けていない私は、自分で生きる意味を見出すしかなかった。憲法の国民主権、9条が「生きよ」と背中を押してくれた。

シールズが現れた時、憲法のもとで生まれ、生きてきた若者が(今の政治を)危ういと感じて、行動したことに感動した。生きていたかっただろう、あなた方のように。死んでいった若い隊員の無念を思い、涙が止まらなかった。

その私の思いが今の若者の心に響いた。時代が今、一巡して昔に戻ってきたように思う。痛切な命の叫びをこれからも伝えていきたい。(文責・新宮)

安倍9条改憲NO!統一署名

澤地久枝さん、瀬戸内寂聴さん、梅原猛さんら19人を発起人とする「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万目標)を呼びかけています。



「戦争させない、9条壊すな!総がかり実行委員会」が近く署名用紙を作成して、全国に行動を呼びかけます。